

特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	138億9,476万円	136億696万円	2億8,780万円
国民健康保険橋波診療所事業	1,439万円	985万円	454万円
診療所事業	1億226万円	9,089万円	1,137万円
老人保健医療事業	17億2,705万円	16億2,845万円	9,860万円
後期高齢者医療事業	24億9,015万円	24億8,896万円	119万円
介護保険事業	111億9,494万円	109億7,951万円	2億1,543万円
簡易水道事業	16億6,936万円	16億5,125万円	1,811万円
下水道事業	80億2,360万円	79億9,699万円	2,661万円
農業・漁業集落排水事業	21億3,294万円	21億1,913万円	1,381万円
浄化槽設置事業	1億7,171万円	1億7,171万円	0円
風力発電事業	4,995万円	4,995万円	0円
ご縁ネット事業	9,515万円	8,488万円	1,027万円
企業用地造成事業	2,978万円	2,978万円	0円
駐車場事業	8,494万円	8,494万円	0円
住宅新築資金等貸付事業	608万円	608万円	0円
高野令一育英奨学事業	423万円	423万円	0円
廃棄物発電事業	2,106万円	2,026万円	80万円
合 計	417億1,235万円	410億2,382万円	6億8,853万円

企業会計

水道事業会計 (税込み)	収益的収支		病院事業会計 (税込み)	収益的収支	
	収入	支出		収入	支出
資本的収支	24億3,741万円	21億7,493万円	資本的収支	21億8,247万円	25億9,699万円
	10億2,727万円	20億9,788万円		2億7,067万円	9億2,510万円

※収益的収支は、1年間の営業収支
 ※資本的収支は、設備投資などに伴う収支。収入不足額は、損益勘定内部留保資金等(積立金など)で補てん

一般会計・特別会計監査委員の審査意見書から

平成20年度の決算状況の概要

一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入が115億5千万円(対前年度比6.2%減)、歳出が113億2千万円(対前年度比7.3%減)、収支差引額22億8千万円、これから翌年度へ繰り越すべき財源10億5千万円を差し引いた実質収支額は12億3千万円の黒字という結果です。

財政状況

起債残高は、一般会計と特別会計を合わせた平成20年度末が198億3千万円で前年度より29億3千万円、率にして約1.5%増加しています。後年度への負担が重荷にならないよう、起債残高削減に向けて不断の努力を望みます。

一方、財政状況の数値を前年度と比較すると、財政力指数は3カ年平均では、改善しているものの単年度では下がっています。起債制限比率では3カ年平均では、0.5%増となっていますが、単年度では1ポイント改善しており、悪化傾向に歯止めがかかった感があります。

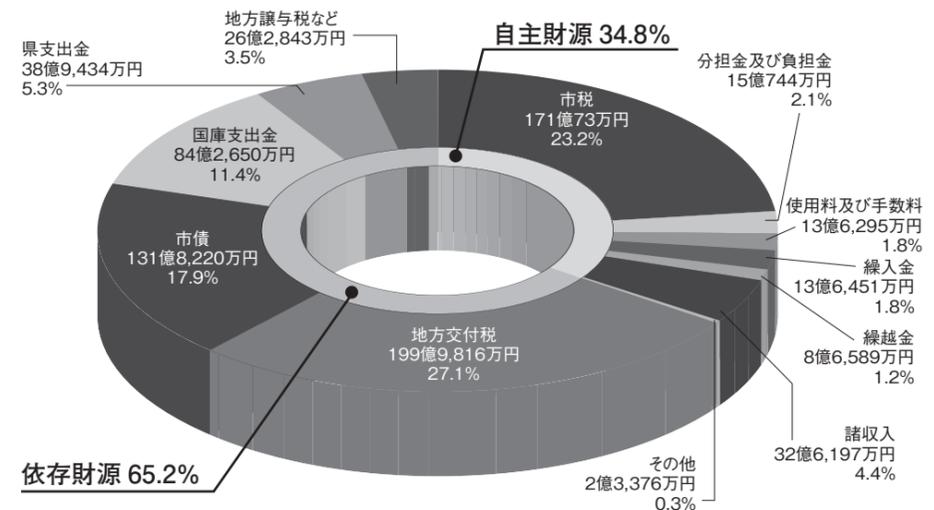
今後の出雲市の財政について

「急がば回れ」まずは財政収支の均衡を保つため、事業の取捨選択・縮減・平準化などに努めるとともに行財政改革を推進し、基金をしっかりと積み立てることによって、財務体質の強化を図ることが重要であると考えます。

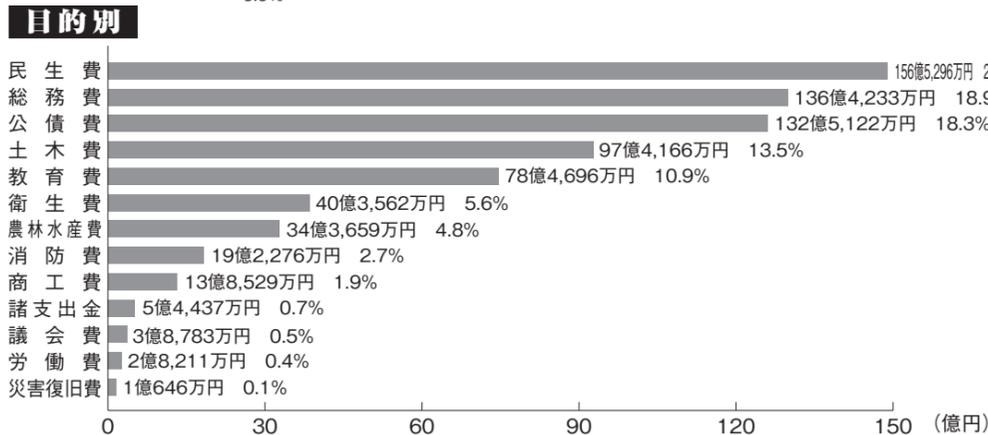
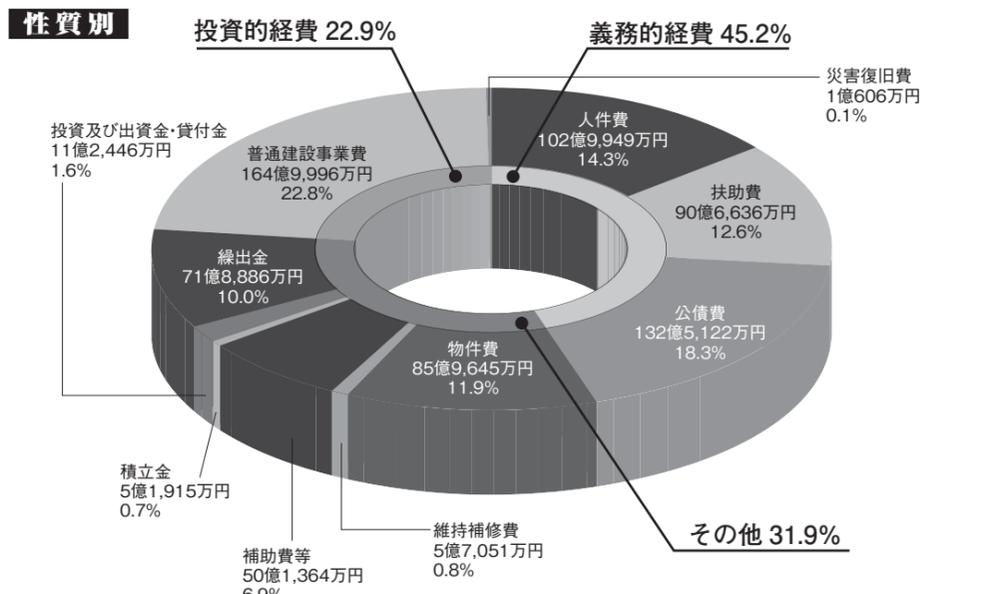
市の財政状況については、今後詳しく紹介していきます。

一般会計

歳入 738億2,688万円



歳出 722億3,616万円



平成20年度決算報告

平成20年度の決算が9月議会で承認されましたので、お知らせします。

● 決算についての
 財政課
 おたずねは
 (08560000)